

院長挨拶



愛媛県立中央病院
院長 中西 徳彦

2025 年度の病院年報をお送りします。

当院は許可病床 827 床のところマンパワー不足により、今年度も運用病床を減らさざるを得ない状況が続いています。しかし、この年報でお示しするように 34 診療科が全力を挙げて当院の理念である「県民の安心の拠り所となる病院」であるべく努力しています。

昨年度の診療実績は、延べ入院患者数 184,230 人で前年比+0.4%、延べ外来患者数 288,983 人で前年比-0.5%程度となりました。各科の診療内容は記載した通りですが、この地域での当院の役割である、救急医療、がん診療、周産期医療、小児救急などで診療実績、学術実績をあげています。

当院では多くのスタッフが働いていますが、それでも限られた資源であることには変わりありません。その中で、一般病棟の入院患者の予定入院日の分散化を図り曜日ごとの入院患者のばらつ

きを平準化すること、一般病棟の混合病棟化もかなり達成できるようになりました。救急患者については、救命センターの病床を有効利用するよう毎日朝夕にベッドコントロールの調整会議を開催しています。手術室の運用につきましても、定期手術のうえに、緊急・準緊急手術を行っており、総手術数 8,368 件、緊急手術数 1,542 件となっています。

医師の働き方改革が開始となって 2 年を過ぎましたが、医師以外のスタッフも様々な改善活動により業務改善、効率化を図っています。各診療科でチーム主治医制の導入、カンファレンスの勤務時間内実施、タスクシフトなど一定の成果を上げているかと思います。その上で人材確保や業務内容の見直しに努めてまいります。

引き続き当院へのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。